

Youth Manna

マルコ1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2023/10/2(月)

詩篇24篇

★誰が聖なる御前に立てるのか(3)。→人は、誰1人として神の御前に立つことはできない。それほど誰でも、罪があるんだ。

★悪は悪の所有者を救い得ない。(伝道者の書8:8)→罪あるもの全ては、私達を救うことができない。

しかし、「神を求める者たちは、主から祝福を受け自分の救いの神から義を得る(5-6)」のである。イエス様を求めるみんなを、イエスは喜んで大歓迎してくれるし、イエスは罪のない方なので、みんなを助けることができるよ。

★祈ろう:神様、わたしは今〇〇に困って(悩んで)います。今、主よ、あなたを求めます。わたしに最適の解決策を与えてください。周りの人達に対する関わり方に知恵を与えてください。わたしの霊が守られるようにも、聖霊様、どうぞ助けてください。

2023/10/3(火)

詩篇25篇

●ダビデは「あなたの道」を知りたいと願い祈っているね(4)。私たちが普段、心に思い巡らすのは「自分の道」の方が多いのではないだろうか(箴言16:9)。

「自分の道」以上に「主の道」を求めるとはどういうことか、静まって思い巡らし考えてみよう。

●神様が選ぶべき道を示してくださる時、その道を喜んで選ぶことができるためには、自分に何が必要だと思う?または、自分の内に変わるべきところはあるだろうか?

2023/10/4(水)

コロサイ1:1-20

当時、コロサイにおいて異なる信仰や文化を混ぜ合わせるような立場が目立っており、コロサイ人への手紙は、問題の起こっていたコロサイの教会に、パウロとテモテが書き送ったものである。

パウロはコロサイの教会の人たちに対し、その信仰と愛を誉め、福音が実を結んでいることを喜んでいる。また、彼らのための祈りとして霊的な知恵や忍耐、寛容が与えられることや、主にふさわしく歩めるようにと記している。

15節から20節は当時の教会に広く知られていた「キリスト讃歌」である。イエス・キリストは、すべての造られたものより先に生まれた方であり、また教会のかしらであるとうたっている。

パウロが記しているように、イエス・キリストにあって私たちは許され、喜びのうちに歩めることを感謝しよう!

2023/10/5(木)

コロサイ1:21-29

28v.「私たちはこのキリストを宣べ伝え、あらゆる知恵をもって、すべての人を諭し、すべての人を教えています。すべての人を、キリストにあって成熟した者として立たせるためです。」

かつてコロサイの人々は神様から離れ生活していたが、救われた今信仰を成熟させるようにとパウロが語っている。

成熟したクリスチャンとは"完全な"という意味があるが、それは罪が全くないということではなく、キリストを信じ、神様の目に正しいことを選んで歩むことである。

この世に調子を合わせるのではなく、聖書に合わせる選びをしているだろうか。神様の愛を流していく歩み、選びをしよう!

2023/10/6(金)

コロサイ2:1-15

●パウロがコリントの教会の人々に願っていたことが2節に書いてあるね。続く箇所ではパウロがイエス様をどのように告白しているかを一つ一つ読んで、それがどのような意味なのか思い巡らしてみよう。

●12節にはバプテスマ(洗礼)のことも書かれているね。洗礼を受けた人は、自分の内に起こったことに確信を持つよう!まだ受けていない人は、洗礼について考えてみよう!

●あなたの心や価値観、考え方や生き方をイエス様から離そうとするものはどんなことがあるだろうか?イエス様にとどまり、イエス様によって歩めるように祈ろう!

2023/10/7(土)

コロサイ2:16-23

イエス様を信じて自由になったはずのコロサイの教会の人たち。だけど、神様が教える以上に「こうあるべき」という人を縛るような教えが広がってしまっていた。それは結局自分たちが満足するためのものだとパウロは語り、私達を一つのからだとして育ててくださる神様に目を向けるよう励ましているね。

私たちの中にも自分で決めつけてしまった決まりや正しさはないかな?神様の基準をまっすぐに受け取れるよう祈っていきましょう!

2023/10/8(日)

コロサイ3:1-11

「こういうわけで、あなたがたはキリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこでは、キリストが神の右の座に着いておられます。上にあるものを思いなさい。地にあるものを思ってはなりません。」

キリストとともに復活のいのちにあずかっている者は、天におられるキリストに心を向けた生活をする。もし、生まれながらの古い人として生活するならば、自分を喜ばせて終わりであり、御霊に従って生活するならば、御霊の御思いに沿うようになる。

教会の働きに直接かかわる、牧師や宣教師の道を進む人々が起こされるように。彼らを支える教会や友が備えられるように。